

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- |     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| I   | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び   |
| II  | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成           |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築        |
| IV  | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V   | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成      |

道府県・政令市名【 広島県 】

1 実践テーマ	【 I 】
2 実施対象者	県立尾道商業高等学校 全校生徒（約580名）
3 展開の形式	（1）学校における活動 ① 教科名（ LHR ） ② 行事名（ オリンピック・パラリンピックムーブメント ）
4 目標 （ねらい）	オリンピック選手の話聞き、オリンピック及びパラリンピックに関心を持つとともに、2020東京に向けて自分がどのように関わっていけるか（「する」「見る」「支える」「知る」）を考える。
5 取組内容	○事前学習 全校生徒にワークシートを配布してオリンピックに関するクイズ（概要、歴史など）をクラスで行い、当日答え合わせを行った。また、ワークシートには講師のプロフィールなども載せた。  ○講演 オリンピック選手の講演をしていただき、実技も披露していただいた。「夢の叶えかた」という題目で講演をしてもらい、生徒も真剣に聞いていた。  ○事後アンケート
6 主な成果	アンケートより生徒のオリンピックに関する関心が高まったことが分かった。 「オリンピック選手の話聞いて、夢や目標持ち努力することの大切さを学んだ」や「自分の好きなスポーツだけでなく他のスポーツにも関心を持ち、応援する気になった」などの意見があった。 また、「生で見たい」、「テレビで見る」など「見る」側面での関わりを積極的に行おうとする意見が多かった。
7 実践において工夫した点 （事業の特色）	事前学習においてオリンピック・パラリンピックに関心を持てるようクイズ出すなど工夫した。
8 主な課題等	・事前学習などでもっと時間を設けて、オリンピック・パラリンピックについての理解を高めた上で実施したかった。 ・滞在時間などを増やして、授業での特別講師としても招きたい。
9 来年度以降の実施予定	これまでの取組を基に来年度の取組について検討中である。